

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：5月ユーロ圏消費者物価(速報)

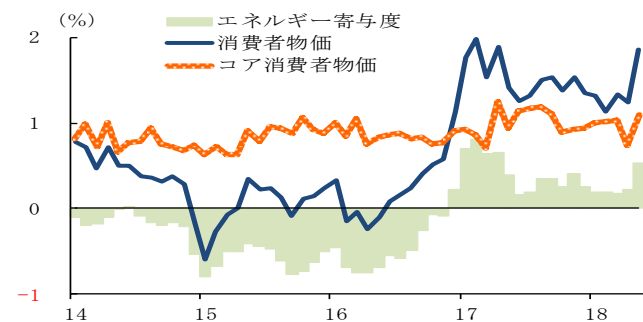
発表日：2018年5月31日(木)

～物価の反発確認、次は景気指標の底打ち待ち～

第一生命経済研究所 経済調査部  
 首席エコノミスト 田中 理  
 03-5221-4527

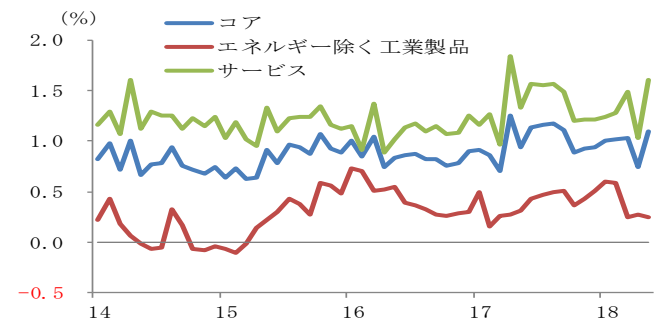
- ・ユーロ圏の消費者物価の5月速報値は前年比+1.9%と、前月の同+1.2%から大幅に加速した。速報段階で入手可能な内訳は、原油高を背景にエネルギー価格（前月：同+2.6%→今月：同+6.1%）の上昇率が大幅に加速したことに加え、イースター休暇時期のズレで前月に下振れしたコア物価（同+0.7%→同+1.1%）が反発。食料・アルコール飲料・たばこ価格（同+2.4%→同+2.6%）も僅かに上昇率が加速した。
- ・コア物価の細かい内訳は6月15日に発表される確報値の結果を待つ必要があるが、前月の確報値では航空運賃、パッケージ旅行、宿泊の旅行関連費目の下振れが目立ち、今月は休暇時期のズレによる下振れが解消したものとみられる。それ以前のトレンド（3ヶ月連続で同+1.0%）をやや上回る水準に戻ったことから、4月に下振れした衣服・履物なども反発した可能性がある。
- ・原油価格が現状程度の水準を維持すると、エネルギー価格の上昇率は向こう2・3ヶ月でピークを迎え、年末に向けて緩やかに上昇率が鈍化する。コア物価の足取りは鈍いとは言え、4月の落ち込みが一過性のものであったことが確認。このところのユーロ圏安進行による輸入物価の押し上げ、加速傾向にある賃金上昇率などに鑑みると、当面の物価はECBが掲げる中期的な物価安定（2%をやや下回る）に沿った動きとなることが予想される。足元の景気指標の下振れやイタリアを巡る金融市場の緊張など不安材料はあるが、今のところECBが緩和終了を延期する決定打とはならないと考える。

■ユーロ圏：消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く  
 出所：Eurostat

■ユーロ圏：コア消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く  
 出所：Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価（%）

	2017				2018											
	2Q	3Q	4Q	1Q	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		
消費者物価（前期比）	0.1	0.2	0.4	0.5	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3	0.0	0.1	0.1	0.5		
（前年比）	1.5	1.4	1.4	1.3	1.5	1.5	1.4	1.5	1.4	1.3	1.1	1.3	1.2	1.9		
コア消費者物価（前年比）	1.1	1.2	0.9	1.0	1.2	1.1	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	0.7	1.1		
食料/アルコール/たばこ（前年比）	1.5	1.6	2.2	1.7	1.4	1.9	2.3	2.2	2.1	1.9	1.0	2.1	2.4	2.6		
食料（前年比）	1.3	1.4	2.2	1.2	1.2	1.8	2.4	2.2	1.9	1.7	0.6	1.5	1.9	—		
アルコール（前年比）	0.6	0.7	0.7	1.6	0.7	0.6	0.7	0.6	0.9	1.5	1.5	1.8	2.4	—		
たばこ（前年比）	3.2	3.2	3.7	4.7	3.3	3.2	3.3	3.7	4.0	4.0	3.8	6.3	6.1	—		
エネルギー（前年比）	4.6	3.4	3.5	2.1	4.0	3.9	3.0	4.7	2.9	2.2	2.1	2.0	2.6	6.1		

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。